

# 幸せと 市民活動の 9つの関係

Well-being and Civic activities 9 relationships

## 3 カテゴリー × 9つの関係

市民活動には「人を幸せにする力がある」と言われています。キッカケラボでは、多くの素敵な活動をヒアリングした上で、「市民活動」と「幸せ」とのつながりを明らかにするために欠かすことができない「9つの関係」があることを見つけました。

それは、①市民活動やプロジェクトそのもの由来すること（4項目）から地域や社会において、②その活動で直接的な影響を受ける対象者（3項目）、直接的には関係ないものの、③間接的に影響を受ける人やものごと（2項目）からなる、3つのカテゴリーに分類されます。市民活動やプロジェクトを実践する際に、この「9つの関係」をよりよくしていくことが良い活動へと繋がり、結果として市民の皆さんの幸福感：ウェルビーイングを高めてくれると定義するものです。自団体の取り組みをより良いものにするため、他組織と連携した活動を効果的にするため、そして、福津市民の皆さんがもっと幸せな暮らしを実現するため、この「9つの関係」に目をむけてみてください。

## この『9つの関係』の使い方

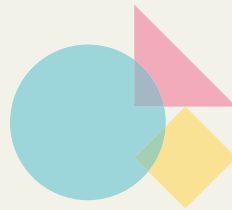
私たちは、この「9つの関係」を活動を評価する採点項目ではなく、自分たちの活動を再調査・再検討する意味あいをこめた指標だと捉え、より良い取り組み・活動へとつなぐツールとして使っていただくことを期待しています。一緒に活動している仲間と「自分たちの活動が市民にどのような影響を与えているか?」「自分たちの組織の内部はどのような関係性か?」などと語り合いながら、現状を把握・共有し、より良いものへと見直すキッカケに使っていただくことを期待しています。

# 幸せと 市民活動の 9つの関係

Well-being and  
Civic activities  
9 relationships



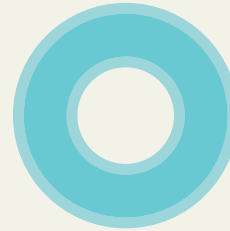
## 多様さ



多様なメンバーが  
協力し合う

一つの活動に多様な世代・属性・専門性のメンバーが参加し、それぞれの得意なことや考え方をうまく生かしながら企画・運営がおこなわれている

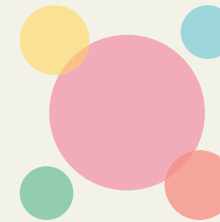
## 自分ごと



活動が  
自分ごとになっている

メンバーの誰もが、活動の意義や目的を深く理解し、自分のなかの「やってみたい」「実現したい」という気持ちに従って活動に取り組んでいる

## ウェルカム



新たな仲間が  
加わりやすい仕組み

メンバーだけで閉じるのではなく、さまざまな人が活動に関わったり協力したりできる余地や仕組みが意図的につくられている

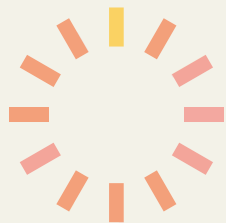
## フェア



お互いが  
価値交換できる関係

一部の人の負担や犠牲の上ではなく、活動に携わる人たちの間でさまざまな価値（生きがい・感謝・縁・お金など）がめぐることによって WIN-WIN の関係性が保たれている

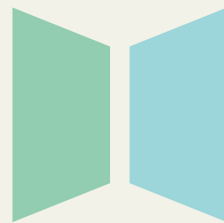
## 笑顔



誰かの幸せを  
生み出す取り組み

誰を笑顔にしたいのかが明確で、活動を通してたくさんの人の笑顔を生みだし、感謝を受けとることができている

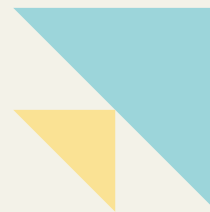
## ストーリー



みんなの共感を  
集めるストーリー

活動に至るまでの経緯やこれから進んでいくべき未来、関わる人たちの思いについて、みんなの共感・賛同を集めるストーリーがある

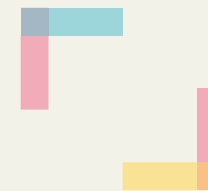
## ポテンシャル



潜在的な声に  
耳を傾けている

笑顔にしたい人たちが本当に求めているものを深く知ろうとする姿勢をもち、社会背景や当事者の声などのしっかりとした分析ができている

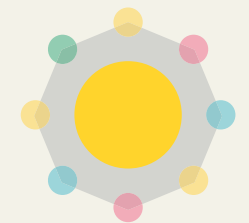
## ワクワク



みんなを  
ワクワクさせる

メンバーも、まわりで見ている人たちも、その活動の先にある未来に期待や面白さを感じ、ワクワクする気持ちを抱いている

## ひろがる



人に伝える工夫

どうしたら自分たちの活動の意義や魅力を人に伝えることができるかを考え、理解者や協力者の輪が広がっていくような情報発信ができている